

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院放射線部では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を承りますようお願い申し上げます。

研究課題名：X線撮影における新規画像処理の有用性の検討

1. 研究の概要

X線画像（レントゲン）検査では、体の様々な部位を撮影しています。1枚のX線画像で多くの情報を得ることができます。しかし、1枚のX線画像には体の厚い部分、薄い部分が同時に含まれることがあり、それにより画像の濃度差（白黒の差）が大きくなり画像診断が難しくなる場合があります。

近年、画像処理の技術の向上により、体の体圧や個人差に関係なく1枚の画像に濃度差を圧縮して表示することが可能になりました。それに合わせて同じX線量で画像のノイズ（ざらつき）を抑えることも可能になりました。

2. 目的

この研究は、整形外科を受診され患者様が受けたX線画像検査において、新しい画像処理と従来の画像処理を比較することが目的です。なお、この研究は、整形外科領域における様々な部位のX線画像診断の向上に関連する新しい知識を得ることを目的とする学術研究活動として実施されます。

3. 研究実施予定期間

この研究は、倫理委員会承認後から2020年3月まで行われます。

4. 対象者

2016年9月から2018年3月に本院に入院または外来で整形領域のX線画像検査を受けた方が対象となります。

5. 方法

対象となる方の（既に撮影された）X線画像を利用させていただきます。また、対象となる方のカルテ情報から、年齢、診断名、身長、体重の情報を利用させていただきます。これらの情報をもとに、整形外科領域でのX線画像検査において、従来の画像処理と新しい画像処理を比較し、新しい画像処理の有用性を検討します。

本学において、個人情報の管理は放射線部 診療放射線技師の吉本真也（内線 3147）が行います。

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された試料・情報（どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る）」として使用いたします。

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保に支障のない範囲で情報開示を行います。

10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、実施責任者が所属する診療科の研究費で賄われます。

なお、本研究の実施責任者と分担研究者は本研究に関わる企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、利益相反^{注1)}はありません。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益（謝金、研究費、株式等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない（自分のデータを使ってほしくない）方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願い致します。

宮崎大学医学部附属病院放射線部

診療放射線技師 吉本 真也

電話：0985-85-3147

FAX：0985-85-9721